

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013203 - 0008		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	3. 4号機T/B防水性向上対策工事										
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋(GI-26)						2019/1/11	2019/1/11	2019/1/11		
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/1/10		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-55	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	可燃その他			A 01	D B	1 m ³	0.04 mSv/h		0.04 mSv/h	無	
	2	可燃その他			A 02	D B	2 m ³	0.04 mSv/h		0.04 mSv/h	無	
	3	可燃その他			A 04	D B	2 m ³	0.04 mSv/h		0.04 mSv/h	無	
4						m ³						
5						m ³						
メ モ	巡回回収場所: GI-25											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0103
				2019/1/11
調整後保管日時		2019年1月17日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容									
測定日	2019年1月17日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICW	F1-ICW-179						
2									
3									
4									

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	可燃その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 10:15	0.8	m ³			1
	3	1	可燃その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 10:15	3	m ³			1
										m ³			
										m ³			
										m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	02	03	04	05					
				紙・ウエス類	プラスチック・ポリ・ビニール類	木材類	可燃物その他	—					
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				金属ガラ	コンクリートガラ	機器類・制御盤類	土砂類	05	塩化ビニール類				
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—				
		C	難燃物	01	02	03	04	05					
		D	伐採木	01	02	03	04	05					
			伐採木(幹・根)	伐採木(枝・葉)	—	—	—	—					
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0010								
作業主管理記入欄	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	8:00		承認	審査	作成									
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																
	発生場所	H6タンクエリア						2019/1/15	2019/1/11	2019/1/11								
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL									
	元請会社					担当者			TEL									
	線量測定年月日	2019/1/11	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14								
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率							
	1	可燃その他			A 04	D B	5 m ³	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無								
	2						m ³											
	3						m ³											
4						m ³												
5						m ³												
メモ	巡回回収場所:GP-27 (改良土嚢袋空袋)																	
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.			
	1	1	可燃その他		2 μ Sv/h		2 μ Sv/h			エリアJ	2019/1/16 8:20	6.2 m ³			1			
												m ³						
												m ³						
												m ³						
												m ³						
												m ³						
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																	
	メモ																	
	※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—
06					—		07	—		08	—		09	—		10	—	
B			不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
C			難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
D			伐採木															
②			状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																		
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																		
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																		

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0111
				2019/1/15
調整後保管日時		2019年1月16日		8:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。				
発生場所にて管理票の確認。				
運搬車を配備致しますので				
保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年1月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業主管理	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	9:00	承認	審査	作成
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
	発生場所	H6タンクエリア				2019/1/15	2019/1/11	2019/1/11
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
線量測定	線量測定年月日	2019/1/11	測定者			測定器名	ICW-BL	
							管理番号 1F-ICWBL-14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	可燃その他	A 04	D	B	5 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h
入 欄	2				m ²			
	3				m ²			
	4				m ²			
	5				m ²			
メモ	巡回回収場所:GP-27 (改良土嚢袋空袋)							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0112
				2019/1/15
調整後保管日時		2019年1月16日		9:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 8:50	3.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1～4号機の廃止措置に向けた研究開発に伴うガレキ試料採取業務								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫 予備室						2019/1/15	2019/1/11	
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/1/10		測定者			測定器名	ICS-323C(γ、β)		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	紙・ウエス等	A 01	D	A	0.05 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	2	紙・ウエス等	A 01	D	A	0.05 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	3	ポリ・ビニール等	A 02	D	A	0.05 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	4	ポリ・ビニール等	A 02	D	A	0.05 m ²	1 μSv/h	2 μSv/h	無	
	5	ポリ・ビニール等	A 02	D	A	0.05 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0117
				2019/1/15
調整後保管日時		2019年1月17日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス等	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:00	0.05 m ²			1
	2	1	紙・ウエス等	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:00	0.05 m ²			1
	3	1	ポリ・ビニール等	2 μSv/h	6 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:00	0.05 m ²			1
	4	1	ポリ・ビニール等	2 μSv/h	6 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:00	0.05 m ²			1
	5	1	ポリ・ビニール等	2 μSv/h	6 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:00	0.05 m ²			1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①		②	③					
	6	ポリ・ビニール等	A	02	D	A	0.05 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
	7	ポリ・ビニール等	A	02	D	A	0.05 m ²	1 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	8	ポリ・ビニール等	A	02	D	A	0.05 m ²	1 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
	9	ポリ・ビニール等	A	02	D	A	0.05 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
	10						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				
受付番号	高2019	—	01	— 0117

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	6	μ Sv/h					0.05	m			
				2	μ Sv/h	6	μ Sv/h					0.05	m			
	6	1	ポリ・ビニール等	2	μ Sv/h	6	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:00	0.05	m			1
	7	1	ポリ・ビニール等	2	μ Sv/h	6	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:00	0.05	m			1
	8	1	ポリ・ビニール等	2	μ Sv/h	6	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:00	0.05	m			1
	9	1	ポリ・ビニール等	2	μ Sv/h	6	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:00	0.05	m			1
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
			01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
		B 不燃物	06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
		C 難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		D 伐採木	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0005

作業主管理	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機の廃止措置に向けた研究開発に伴うガレキ試料採取業務								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫 予備室					2019/1/15	2019/1/15	2019/1/15	
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定	線量測定年月日	2019/1/10	測定者		測定器名	ICS-323C(γ、β)		管理番号	R04717	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ポリ・ビニール等	A 02	D	A	0.05 m ²	1 μSv/h	5.6 μSv/h	β有	32 μSv/h
	2					m ²				
入 欄	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0118
調整後保管日時				2019年1月17日 11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		ポリ・ビニール等	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2019/1/17 10:55	0.05 m ²		ZK-01893	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=7 μSv/h, β+γ線量率=7 μSv/h

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴				
				A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月18日	(金)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	3号機R/B防水性向上対策工事								
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋(GK-10西～中央)			2019/1/15	2019/1/15	2019/1/15			
	作業主管G	建築水対策グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/1/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-55		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	可燃(木材類)	A	03	D	B	5 m ³	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
巡回回収場所	GK-10西～中央									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0119
				2019/1/15
調整後保管日時		2019年1月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		可燃(木材類)	2 μ Sv/h	4 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 9:50	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	D	難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/12/21	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	
							1F-ICWBL-14			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃物その他	B	10	D	A	2.5 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
	2	塩化ビニール類	B	05	D	A	2.5 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	4tユニット1台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0044
				2018/12/25
調整後保管日時		2019年1月17日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票				計上No.	6013109 - 0003
---------------------	--	--	--	-------	----------------

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F港湾復旧改造工事								
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)					2018/12/26	2018/12/26	2018/12/26	
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/12/12	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃物その他	B	10	D	A	5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0056
				2018/12/26
調整後保管日時		2019年1月17日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月18日	(金)	8:30	承認	審査	作成													
	作業件名	1F港湾復旧改造工事																		
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)																		
	作業主管G	港湾土木グループ	監理員		TEL															
	元請会社		担当者		TEL															
	線量測定年月日	2018/12/12	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-120													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	コンクリートガラ	B						02	D	A	5	m	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
		2											m							
		3											m							
		4											m							
5						m														
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0059
				2018/12/26
調整後保管日時		2019年1月18日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m			
									m			
									m			
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015203 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期									
	発生場所	5・6号西ヤードA				2018/12/28	2018/12/28	2018/12/28			
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/12/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-033			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	不燃物その他	B	10	D	A	30 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.018 mSv/h
	2	金属ガラ	B	01	D	A	15 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	3	不燃物その他	B	10	D	A	5 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	4						m				
	5						m				
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 6m3コンテナ5基										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0082
				2019/1/7
調整後保管日時		2019年1月16日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m			
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015203 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期									
	発生場所	5・6号西ヤードA						2018/12/28	2018/12/28		
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/12/10	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-033		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	不燃物その他	B	10	D	A	30 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.018 mSv/h
	2	金属ガラ	B	01	D	A	15 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	3	不燃物その他	B	10	D	A	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
4						m ²					
5						m ²					
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 6m3コンテナ5基											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0084
				2019/1/7
調整後保管日時		2019年1月17日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
			中止						m ²				
									m ²				
									m ²				
									m ²				
									m ²				
									m ²				
									m ²				
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015203 - 0001

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	13:00	承認	審査	作成
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期						
	発生場所	5, 6仮置き場(5, 6号開閉所北側)					2018/12/28	2018/12/28
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員		TEL	
	元請会社				担当者		TEL	
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/11/5		測定者		測定器名	ICWBL	
							管理番号 F1-ICWBL-033	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B 01	D A	30 m ³	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有 0.014 mSv/h
メ モ	2				m ³			
	3				m ³			
	4				m ³			
	5				m ³			
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 6m3コンテナ5基							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0085
				2019/1/7
調整後保管日時		2019年1月17日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月18日	(金)	12:00	承認	審査	作成				
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	B南エリア			2019/1/8	2019/1/8	2019/1/8				
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/12/27	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 1F-ICWBL-98				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β・α 汚染の有無				
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
メモ	10tDT×1台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0100
				2019/1/8
調整後保管日時		2019年1月18日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月18日	(金)	11:00	承認	審査	作成							
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事												
	発生場所	G6エリア			2019/1/9	2019/1/9	2019/1/9							
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL									
	元請会社		担当者		TEL									
	線量測定年月日	2019/1/8	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 T-ICWBL-04							
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
		①	②	③										
		1 難燃ゴミ	C 01	D B						1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
		2 金属ゴミ	B 01	D B						4 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
		3								m ³				
4			m ³											
5			m ³											
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 瓦礫に関する連絡は、 までお願いします。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0127
				2019/1/9
調整後保管日時		2019年1月18日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013405 - 0009

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月18日	(金)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1F-6MCUWF/Dシーケンスコントローラ修理工事(第4回)									
	発生場所	5号機 R/B建屋			2019/1/9	2019/1/9	2019/1/7				
	作業主管G	計装設備グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/12/26	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号 F1-SC-090				
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	機器類・制御盤類(圧力計ほか)	B	03	D	A	0.2 m ²	1 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	無	
	2	金属ガラ	B	01	D	A	0.2 m ²	1 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	無	
	3	可燃物(紙・ウエス類)	A	01	D	A	0.2 m ²	1 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	無	
	4	可燃物(プラスチック・ポリ・ビニール類)	A	02	D	A	0.2 m ²	1 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	無	
5	可燃物その他	A	04	D	A	0.2 m ²	1 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	無		
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0132
				2019/1/9
調整後保管日時		2019年1月18日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率			
			①	②	③										
	6	難燃物(難燃シート類)	C	02	D	A	0.2	m ²	1	μ Sv/h	1.5	μ Sv/h	無		
	7	難燃物(ホース類)	C	03	D	A	0.2	m ²	1	μ Sv/h	1.5	μ Sv/h	無		
	8	難燃物(その他)	C	04	D	A	0.2	m ²	1	μ Sv/h	1.5	μ Sv/h	無		
	9	不燃物(ケーブル類)	B	08	D	A	0.2	m ²	1	μ Sv/h	1.5	μ Sv/h	無		
	10	不燃物(その他)	B	10	D	A	0.2	m ²	1	μ Sv/h	1.5	μ Sv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0132

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「F」構内にあった物、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア				2018/12/25	2018/12/25	2018/12/25		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
線量測定年月日	2018/12/21	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	ゴム類	C	01	D	B	2 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
	2	難燃シート類	C	02	D	B	1 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
入欄メモ	3	難燃物その他	C	04	D	B	2 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
	4									
	5									
巡回回収場所: GP-27										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0011
				2018/12/25
調整後保管日時		2019年1月17日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	タンクヤード					2018/12/26	2018/12/26	2018/12/26	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定年月日	2018/10/9	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-57			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m	0.011 mSv/h	0.011 mSv/h	無
	2						m			
	3						m			
メ モ	巡回回収場所: GR-17									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2019	—	01	—	0036
				2018/12/27
調整後保管日時		2019年1月16日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m			
									m			
									m			
									m			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	③	履歴		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月9日		(水)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】									
	発生場所	タンクヤード					2018/12/26	2018/12/26	2018/12/26		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/10/9	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-57			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	耐圧ホース		C	03	D	B	5 m	0.011 mSv/h	0.011 mSv/h	無
	2							m			
	3							m			
4							m				
5							m				
巡回回収場所	GR-17										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0037
				2018/12/27
調整後保管日時		2019年1月17日		10:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
			中止									m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月9日		(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	タンクヤード					2018/12/26	2018/12/26	2018/12/26	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/9	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-57	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m	0.011 mSv/h	0.011 mSv/h	無	
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				
メモ	巡回回収場所: GR-17									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0038
				2018/12/27
調整後保管日時		2019年1月17日		10:30
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。				
発生場所にて管理票の確認。				
運搬車を配備致しますので				
保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m			
									m			
									m			
									m			
									m			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月9日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	タンクヤード						2018/12/26	2018/12/26	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/10/9	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-57	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	耐圧ホース		C 03	D B	5 m ²	0.011 mSv/h	0.011 mSv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
4					m ²					
5					m ²					
メ モ	巡回回収場所: GR-17									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0039
				2018/12/27
調整後保管日時		2019年1月17日		11:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 ~ 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月9日		(水)	11:30	承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】							
	発生場所	タンクヤード					2018/12/26	2018/12/26	2018/12/26
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/10/9	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-57	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無
1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m ²	0.011 mSv/h	0.011 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
巡回回収場所: GR-17									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2019	—	01	—	0040
				2018/12/27
調整後保管日時		2019年1月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年1月10日	(木)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】									
	発生場所	タンクヤード			2018/12/26	2018/12/26	2018/12/26				
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
G	線量測定年月日	2018/10/9	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-57			
記 入 欄 メモ	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③						
	1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m ²	0.011 mSv/h	0.011 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
メモ	巡回回収場所: GR-17										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0041
				2018/12/27
調整後保管日時		2019年1月18日		10:30
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。				
発生場所にて管理票の確認。				
運搬車を配備致しますので				
保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月10日		(木)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	タンクヤード					2018/12/26	2018/12/26	2018/12/26	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/10/9	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-57	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m	0.011 mSv/h	0.011 mSv/h	無
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				
巡回回収場所: GR-17										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0042
調整後保管日時				2019年1月18日 11:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m			
									m			
									m			
									m			
									m			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		
						A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0029			
作業主管理	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	11:00		承認	審査	作成	固体廃棄物管理G記入欄		受付	
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								受付番号			
	発生場所	タンクヤード						2019/1/8	2019/1/8	2018/12/26	高2019	01	0069
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL			2019/1/9	
	元請会社					担当者			TEL			調整後保管日時	2019年1月16日
線量測定年月日	2018/10/9	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-57		【保管時の指示事項等】		
	発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。												
	No.	保管物名		※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	耐圧ホース	C	03	D	B	5 m	0.011 mSv/h	0.011 mSv/h	無			
	2						m						
入欄メモ	3					m							
	4					m							
	5					m							
巡回回収場所: GQ-19													
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
			中止						m				
									m				
									m				
									m				
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載													
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													